

第1回朝食会ご報告

去る10/6（木）、第1回朝食会が開催されました。

当機構代表理事黒川清が、「国民の医療：何が課題か」というテーマの下、およそ1時間にわたりお話させて頂き、その上で、ご参加の皆様からのご質問にお答えいたしました。短い時間ではございましたが、非常にアットホームな雰囲気の中で会を進めることができました。ご参加の皆様、ありがとうございました。

（要旨）

医療を取り巻く環境が変わってきている。国民皆保険が導入された当時は、日本は第1次産業に依存し貧しく、死因も脳血管疾患や結核が中心だった。現在は、工業化と都市化に伴い、生活は豊かになり、医療の技術も進歩する一方で、運動量が減り、生活習慣病がはびこっている。

このように医療の環境が変わっている中で、医療政策を見つめなおす時が来ているのではないか。

今、何が問題か。医療費は32兆円と言われているが、誰が払って誰が何を享受するのか、この議論を深めていく必要がある。タックスペイヤーすなわち国民が、どうお金を使うべきか声を上げなければならない。

しかし現状を見ると、生活習慣病や喫煙の問題など、個人に原因がある病気が多い。これは国民に甘えがあるということではないのか。

このような朝食会の場の活用も含め、啓蒙、啓発活動も必要性を痛感している。

（ディスカッション）

参加者の方からのご質問を踏まえ、混合診療、地域医療の問題、大学病院のあり方、アメリカの医療体制などにも議論が及びました。



黒川清の講演風景